

## 目標

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9	日々の利用者との関わりの中で、昔懐かしい話をされたり、願望などの訴えがあったりしても一人ひとりにゆっくりと寄り添い、想いを汲み取りながら話をすることができていることもあるができていないことがある。	利用者の何気ない言葉や表情のサインに気づき、本音の想いをしっかりと汲み取り、本人のやりがい、生き甲斐に繋げる	回想法を用いて、その人が得意だったことや自慢できることなどの思い出話を共感的に傾聴し、寄り添いながら本人が輝いていた過去や魅力を引き出す。また、外出やレクリエーションを通して意欲を引き出せるようにする。	6ヶ月
2	110	日常生活の状況や細かな様子を十分記録に残せていない為、ケアプランに反映出来ていないことがある。小さな気づきをしっかり記録に残し、職員間で情報共有しながら個々のニーズに合ったケアとなるプランにつなげる。	一人ひとりの想いや暮らし方への希望、意向の把握に努め、ケアプランに活かすことができる。	日々の暮らしの中で利用者の個々のニーズをしっかりと把握したうえで、本人が生き生きと過ごせるような役割や楽しみが得られるようにする。その時気づきをこまめに記録し、ケア実践と今後のプランに繋げていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。